時事報報

米國貿易家の進路

米國の貿易は近年次第に手廣くなり昨年中あるい彼の市場にて日本品の聲價甚だ高かりしが爲め今年は昨年の景氣に乘じて其輸出頗ます〳〵加はり或はナト仕入れ過ぎて其價格と落をおゝんとの說もあれども兎に角に米國の貿易は前途の望多しと云はざるを得ず日本の外國貿易の爲めに祳れば誠に祝す可きとして今後ますます〳〵此貿易を擴張せざる可らざるお就ては我輩聊か所見なきを非ず抑も日本品の米國に賣れ出しさるは誠に近年の事にして今日只今までの處にて米國人の之を購買するは其品の傳用向きあるが爲めに非ずして寧ろ其珍奇稀少なるが爲めなり例へバ烟管圓扇燭臺の如きものにても米國人は之を買ふて之を實用もるる非ず是れい東洋の一孤島日本とか云ふ國の烟管あり將た圓扇燭臺なりとて偏ふ其珍らしきを悅び平生棚の上に飾り置き飯前茶後賓客會話の其際に之を示して其好奇心を慰め以て一場の話柄ふ供するまでなれば其品いよ〳〵不器用ふしていよ〳〵實用お適せざればいよ〳〵人に珍重せらるゝの趣あり云はゞ今日まで米國人の日本品を購買したるは觀古珍奇の精神に出でたるものなりと評するも不可なきが如し然るに日米の貿易は近來ますます〳〵手廣くありて幾分ケ日本國の名も響き幾分か日本品の所用も知れたれば好奇心よりして日本品を珍重もるの念はヤヽ薄らぎて品の不器用を以て膝を取るの時代は最早既ふ過ぎ去りたるもの〳〵如し左をば今後米國の貿易に從事するものい其輸出品を調製するふ當て從來の如く只管彼の好奇心に投するとのみを勉めず日本の技術と思想とを失はずまて然かも米國人の實用に適するやうの商品と撰びと專一なる可し例へば前述の燭臺烟管の如きものふても其蒔繪彫刻等は日本美術の手際を示ふ其圖畫模樣も亦日本流の花卉山水人物を寫すと肝要なれども其の品の恰好大小等は米國人家居日常の實際に照らし烟管とふ煙臺として實用ふ適するの品物を撰ばざる可らず即ち從來の輸出品は需要者の實用如何を問はず唯米國中お類あくして一風變りたるものあらば其僅輸出して需要に出逢ひたりと雖ども今は少しく其趣を異ふし日本の技術を以て米國の實用に適するやうの工夫肝要あれば米國輸出商は日本の品々物々を吟味して之と米人の實用に適合せしひるの思案を廻らし尙進んで米國の流行時好に注意し其嗜好お投するやう臨機に商品の調製を工夫せざるべからずと雖ども爰に一條の困難と申すは他お非ず米國ふ於ける日本の貿易は今日尙甚ず幼稚ふ之て分業未ず行はるず目下れ處にては生糸製茶を除くの外一品專門の輸出者あく一手にて種々の品物と仕入れ絹布も銅器も紙も漆器も同人同時に輸出するのみあらず日本より米國に出店する其店先きにても亦ふの種々の品物を賣り輸出者も出店者も片田舎の萬屋流儀を守るが故に其商人の注意は各々種々の商品に分れて一品に專ら力あると能はず即ち或る一商品に就て米國人の實用と好尙とを穿讀し細かに之を改良して大に其品物と販賣もるの工夫と欠くもれい如し遺憾ありと云ふ可し故に今彼の國への輸出と賣先んとすれ之其輸出商の業と分つて萬屋の性質を脫せしめ何品にても其一品に就き精密に需要者の嗜好と探りて專門ふ之を賣るの道を開くこと緊要なるい既ふ明白ありと雖ども今日の勢にて日本の輸出商が兎角此專門の商賣を開く能はざるは亦自から其故あるに非ず請ふ之を次號に譲せん

雜報

○大坂通信　（十月二十二日發）對馬砲臺建築の爲め工兵局次長矢吹中佐及大坂工兵第二方面南部大尉の一行が同島へ出張したるとゝ人の知る所なるが同一行は既に砲臺建築の測量に着手ゐ淺海灣の芋崎、古綱代山の二箇所へも砲臺を建築するには偏強の場所ありと又同島の背後お當る貝鮒良山、嵯峨の二箇所へも砲臺を建築する筈にて目下實測に着手ゐたるが何れも測量を取急ぎ由にて右擬次第直ふ砲臺の建築に着手もる都合あり

○佛清及び羅馬法王　本紙上にも屢々記載せし羅馬法王ゐ清國へ公使と派遣するとふ付佛國が不承知を申出る事ふ關し近着の倫敦タイムス新聞ふ其顚末と記載しひるを見れば其要領を玆に記載すべし今を距る事凡そ二百年前清帝は羅馬法王と深密なる交際と爲し年々一度宜ふ使節を往來せしひる程なれば後には力ソリック宗の信徒とゐらんとし北京城内お於て教會堂の敷地四ケ所と法王に寄附せり其後帝の耶蘇信徒となる事は中止となりたれ共四ケ所の會堂は其儘法王の有とゐり中お〻ペサンの會堂といへるは宮城内に在りて宮内と看下し清人は甚だ不愉快の事に思ひ居たるが其後千八百六十年の戰爭に兵燹ふ罹りゐれば支那人い之ゝ機會として再び此地ふ會堂と建築する事を拒みゐるとも佛人は之を肯ゐ せずして建築し其後清國に於て取除かん事と企てたれとも他事の多端なると一つふは佛國の威力に壓せらるゝ今日まで獨しゐるものあり又た一方お於て佛國が支那内地にカソリック宗徒を管轄するの權ゐ得たりしは千八百六十年の條約後の事にゐて其時佛國が他の舊教諸國ふ先ち始めて條約面に於て支那内地ふ布教するの承諾を同國政府より得たるが爲めに其宗徒の管轄者とゐるゐる者なり左れば清國に於ては佛國が此欲する者の如く清人の心には彼の東京に於て戰端を開きたる時佛人は土地の騷敎信徒と符集めて土兵に編制し之と以て支那に抵抗せゝ事あり若し今後一朝外國と爭端を開く等の事ある時滿州の宮城近傍にて再び如此兇事の起りもせば清國に取りては由々敷大事なれば速ふ此會堂を取去らざる可ゐと思ひ又蓼ては再び羅馬法王と昔時の如く使節の往復するふ至れば贈て其時代の如く支那をして繁盛なゐしひるの一助とならんとれ例の支那人の迷ひ心より一は〻サンの會堂を取除かん事を佛國の手と經ずして直接に法王ふ請求し一は羅馬と北京との交際の爲め互お公使を駐在せしひる事を請求せんが爲め清國政府より使節を羅馬へ派遣するふ決し情此使節は昨年中ヴェンダーン氏が命せられ同氏は本年始めふ羅馬ふ着し法王及びカーヴナルヴヤコビッン氏お面ふ使節の旨を傳へたれば羅馬法王も承諾の旨を答へたるふ佛國い此事を聞くや大ふ法王に向つて其不可を責めたるとも元來〻サンの地は清帝より法王に寄附ふたるものあれば法王が其取除を許諾するに差支もなき筈ふれども只だ公使を派遣せゝひるは佛國が主張せる處興論と同一あるが如ふ去る八月中佛國は羅馬法王に使節を送り法王より清國へ派遣ふる公使の呼戻しを請求し只ゞ一時の使節を派遣する事と許諾せり然るに支那は自國より羅馬に派遣せんとする公使と同樣の資格を備へるものお非んば承知せず如斯兇有樣にて法王は佛清兩國の中間に立ち佛國ふ背かざらんとすればゐ支那れ歡心を損ひ支那の要求の如くせんとすれば佛國との交際を絶たざるべからず進退極りたる有樣なりしが法王の政府に取りては支那よりも佛國と親密お〻ふんとゝ欲する事勿論なれ之遠ふ佛國の言ふがまゝに一時の使節と支那に派遣するとゐ〻たりとぞ

○刑事統計摘要　明治十七十八兩年重罪輕罪の增減比較は既に過日來の紙上に記載せし所あるが今又右兩年の諸規則違犯者の增減と比較すれ之十八年中諸規則違犯の被告人員總數は十萬五千五百二十八人ふして之を十七年に比較すれバ四萬六千五百二十八人ふして增加せり又其種類を揚ゐて增減の重立ちたる者と比較すれば酒造及醬麹營業規則と犯ふたる者十七年六千二百七十八人十八年九千九百九十五人增加三千七百二十五人煙草稅則と犯したる者十七年四千八十八年八千三百三十五人增加四千三百三十五人鴉劵印稅規則に違ふ者十七年一萬五千八十九人十八年三萬七千八百十四人增加二萬二千七百二十五人車稅規則と犯ふたる者十七年九百十九人十八年二千五百八人增加千五百八十九人船稅規則と犯したる者十七年三千七十四人十八年七千七百七十五人

○福井通信　（十月十七日發）書記官巡回　向きに電信と以て報道ふたる如く本縣第一部長書記官遠藤達氏い去る頃より若狹地方を巡視し歸路各郡を巡回ふて到る所戶長勸業委員有志者等と召集ふ桑苗を栽培し養蠶製糸の業と盛大ふするの急務なる理由を懇々説示したる由○警部長上京　本縣警部長西長利氏は公用の爲め警部山田警部補大野兩氏を隨へ上京したるに付不在中は警部園田氏ゞ事務と代理する由○海軍志願兵　先般來本縣下に於て海軍水兵を募集せしふ四百八十七人の志願者ありゐるを以て海軍大尉門屋道四郎氏海軍大軍醫菅野虎太氏外數名い右檢査の爲め來縣せり○訓示　本縣下ふては追々郡役所の權限を擴張そる趣にて此程石黑知事は行政事務ふ付疑義あるもの等は此迄當廳へ戶長より伺出來りたれども自今其特に當廳の指揮を請ふ可き明文あるもの〻外は本年七月勅令第五十四號地方官令制第四十一條に依り郡長へ伺出指揮を受くべき儀と心得べし郡長に於て若疑義あるときい當廳の裁可を經たる上指揮とゐす可し云々と各郡長及戶長へ訓示ふ之より○コレラ　當縣下のコレラも追々衰滅すると以て向況に募集したる臨時巡査は頃日其職を免せられたり○共進會　本縣下若狹國小濱ふ於て生糸外九品れ共進會と來る十二月一日より七日間開會そるに付本縣知事も臨場して褒賞と授與する筈なり○商況　は少く回復の模樣にて市中も幾分か景氣を加へたり米は格別變動なく一俵（四斗六升入）二圓十錢位揚は非常ふ騰貴し三田尻千俵に付き百五十圓内外あり大豆一石三圓二十錢小豆四圓十五錢位雜穀も上景氣ふて生蠟十貫目十五圓鰮蠟十七圓内外なり金肥も少く繁忙を加へ刺子月一分二三厘あり○縣會　來る十一月五日頃より廿年度通常縣會と開くに付兄去る十五日より常置委員會を開きたり○書記官の評　今回大坂府大書記官より本縣書記官に轉任したる遠藤達氏は頗る法理に精しく且つ勤業に熱心にて勉めて人民の便利を計畫するを以て人民は大に喜び居れり

獵銃到着廣告
代價之義ハ四十圓ヨリ二百五十圓迄物品ニ應シテ高下有之
十二ボール
十六ゲー

●●●生徒募集
●十一月一日●
●ヨリ賀行ス●
●時間ヲ增シ大

ロースフランド製精良牛乳販賣廣告
是ハ獨逸國バヤリア山ニテ精製シタル純良ノ牛乳ニテ砂糖其他ノ混合物ヲ一切交ヘザル次第ニ付……
十二月廿六日……
……
……